

研修会報告

令和 5 年 6 月 1 日

文責：小泉照樹

研修会テーマ「令和 4 年度宮臨技精度管理調査 病理部門フォローアップ研修会 ～免疫組織化学染色(c-kit)～」

開催日時 令和 5 年 5 月 27 日（土）13：00 ～15：50

会場 Zoom ウェビナーによる Web 研修会

司会 佐藤正樹、小泉照樹

生涯教育点数 専門教科 20 点

参加者 会員参加者 41 名 入会申請中会員 0 名 非会員 1 名 賛助会員 6 名 学生 0 名
合計 48 名

講演 1 「令和 4 年度宮臨技精度管理調査 病理部門調査報告・

アンケート報告(タスクシフト・シェアについて)」

「令和 4 年度宮臨技精度管理調査 病理部門検討報告」

東北大学大学院 医学系研究科 病理診断学分野 土田 吉朗 技師

みやぎ県南中核病院 病理検査室 千崎 久美子 技師

講演 2 「令和 4 年度宮臨技精度管理調査 病理部門総評」

「ステロイドホルモン研究における組織学的アプローチ」

東北大学大学院 医学系研究科 病理診断学分野 鈴木 貴 先生

講演 3 「当院における切り出しのタスク・シフト/シェア」

仙台オープン病院 診療支援部 臨床検査室 井上 皓太 技師

内容

新型コロナウイルス感染症が 5 類感染症に移行した直後の研修会となった。県内でも研修会の実地開催の是非が検討されるようになったが、本研修会では前年と同様に Zoom ウェビナーによる Web での開催となった。

また、井上技師の講演の際に機器トラブルがあり急遽プログラムの変更を行ったため、鈴木先生と講演順序の入れ替えを行った。

講演 1 では土田吉朗技師より病理部門の精度管理調査報告とタスクシフト・シェアに関するアンケート報告を行った。精度管理項目である免疫組織化学染色(c-kit)では多くの施設で良好な染色性が得られたが、1施設では総合評価 C となった。講演内では該当施設に依頼した再染色結果と染色不良の原因究明についての報告がなされた。その他に染色に関するアンケートや病理分野に関わるタスクシフト・シェアに関するアンケートの詳細な発表を行った。千崎久美子技師からは調査内で挙げられた陽性コントロールに関しての問題への回答として、様々な組織や疾患における免疫組織化学染色(c-kit)の染色態度についての検

討報告が行われた。参加者からは調査報告に対して評価時に使用した WSI の条件や報告書について、検討報告に対しては肥満細胞の染色態度に関する質問などが挙げられた。

講演 2 では令和 4 年度の病理部門精度管理監修医を務めた鈴木貴先生より講演いただいた。令和 4 年度の染色項目である免疫組織化学染色に関して、先生の専門分野であるステロイドホルモン研究を中心に染色結果から読み取れるホルモン受容体の機能の測定やホルモン濃度の測定、それら検査結果が意味する治療へのアプローチなどを詳細に説明いただいた。

講演 3 ではタスクシフト・シェアに関する講演として井上皓太技師より自施設で行っている切り出しについて報告いただいた。様々な規約を参考にマニュアルを整備し写真撮影に工夫を加えることで、臨床検査技師による手術検体の切り出しが行われているとのことであった。

今後も宮城県臨床検査技師会員のためにどのような情報が必要であるか検討を重ね、精度管理調査やアンケート調査を行い、これらを通じて得られた結果・考察をもとに研修会を開催し、勉強する場を提供したい。